

市民交流センター・授産活動支援センターが主催する教室・講座・イベントの情報をお届けします。

市民交流センターだより

第37号

発行：堺市立健康福祉プラザ 市民交流センター 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 tel.072-275-5017 fax.072-243-0330

令和5年度を振り返って

令和6年度がスタートするその前に令和5年度を振り返ってみたいと思います。

4月、春のプラザ祭りの開催の時は、新型コロナウイルス感染症がまだ2類に分類されており、細心の注意をはらいながらの開催でしたが、そんな中でもたくさんの方に来ていただき、皆さんの笑顔がはじけたプラザ祭りでした。

5月8日にようやくコロナが5類感染症(季節インフルエンザと同じ)に分類されましたが用心をしながらの事業実施、ですが、少しずつ活動が活発になってきました。

市民交流センターでは各種教室を開催していますが、春先は応募される方も様子見で定員ギリギリぐらいの申込でしたが、秋から冬にかけて申し込みも増え倍率も2倍～3倍となる教室が増え、うれしいやら(参加できなかった方には)申し訳ないやらで複雑な気持ちでした。

特に料理教室やパン作り教室は人気があり、毎回ッキングルームが大賑わいです。

7月には校区のお祭りに参加させていただき、スーパーボールすくいとPKゲームでたくさんのお子様たちに遊んでいただきました。子どもたちの歓声を聞き、たくさんのお笑顔が見れたお祭でした。

10月実施のsakai ARTcation 2023(さかいアートケーション2023)には300点近くの作品応募をいただき、過去最高の応募数となりました。どの作品も熱い思いややさしい気持ちが詰まっている作品で、心が熱くなったりほっこりしたりと感動の作品ばかりでした。

堺市役所庁舎に加え今年度から各区役所にご協力を

いただき、エントランスホール等で優秀賞等を受賞された作品の巡回展を開催させていただいたことで、例年よりも多くの方にご覧いただくことができました。

市民交流センターの話題ではないですが、プロ野球では、阪神タイガースがセリーグを制覇し、パリーグではオリックスが3連覇、そして11月に関西対決の日本シリーズで阪神が38年ぶりの日本一に輝き、関西が大いに盛り上がりました。(優勝パレードもすごかった。)

12月の障害者週間では、多くの方々に障害についての理解を深めていただくこと、障害のある方とない方の交流を深めていただくこと等を目的にフェスティバルを開催。多くの方にご来場いただけました。(校区の方にもご参加いただき、交流・連携が図れました)



「障害者週間」フェスティバルの様子

1月、元旦に能登地方で地震による大規模災害が発生。様々な情報を見聞きする中で、現在協議をすすめています。

2月には、障害のある方が事業所で作っている雑貨や食品の授産製品コンクールを開催。それぞれ1作品ずつ堺市長賞が決まりました。

センターのイベント実施時には、多くのボランティアさんにご協力をいただいております、また、各種教室の開催では、講師の方々にご協力をいただいております。心より感謝とお礼を申し上げます。

ご利用いただいている皆様、ボランティアの方々、講師の皆様、令和6年度もよろしくお願いいたします。



sakai ARTcation 2023の様子

市民交流センター

市民交流センターでは、より多くの市民の皆様気軽に参加いただけるように、陶芸、絵画、料理、写真、園芸などの教室を実施しています。

「障害者週間」フェスティバル

12月9日(土)に障害者週間(12月3日～9日)の啓発行事として、障害者福祉についての関心を深めるとともに障害のある方とない方が交流し、理解しあい、共生する社会をめざすきっかけ作りになることを目的とし、毎年開催しています。

体験コーナーでは、「ポッチャ体験」・「点字体験」・「手話での絵本の読み聞かせ」・「認知エクササイズ」・「おもちゃ作りと絵本の読み聞かせ」等を企画し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方に体験いただきました。地域連携及び社会貢献の一環でご協力いただいた、「郵便局による年賀状作りのコーナー」も盛況でした。

また、ベルデさかいの利用者と来館者との交流を目的とした、「ベルデの利用者と音楽で一緒に楽しもう!」では、簡単な楽器を通して、ベルデの利用者と来館者が一緒にリズムをとって体を動かしたり、珍しい楽器を楽しそうに叩いてる子どもたちの姿が印象的で、音楽を通して、会場が笑顔に包まれました。

さらに薬物依存の青年が一匹の猫との出会いを通して、更生していく姿を描いた「ボブという名の猫-幸せのハイタッチ-」を上映し、「薬物依存を克服し、更生していくためには周囲の理解やサポート、心の拠り所となる物が不可欠であることが理解できた。」と感想をいただきました。

プールでは、元オリンピック選手の千葉すずさんによ

る熱血の水泳指導や面白いお話が大変好評でした。

また、大仙校区自治会によるフランクフルト販売、障害者を作るさまざまな授産製品を扱うお店「PASSER」の販売コーナー、障害者施設によるフードカー、難病患者支援団体による減農薬野菜販売、日用品バザーも盛況で、コロナ前の賑わいが感じられました。

このように地域やさまざまな関係機関・団体のご協力のもと、イベントが実施され、延べ1,500名の方々に参加いただき、ご来館いただいた方からは、「このような気づきや学びを得られるイベントにより、障害者への理解を深められたらいいと思う。最も重要なことは心のバリアフリーだと考える。」と感想をいただきました。今後も市民交流センターでは、交流イベントなどを通じた障害理解の啓発、障害のある方の社会参加の促進を図って参ります。次回の交流イベントは、4月に「春のプラザ祭り」を開催しますので、是非ご参加ください。



「障害者週間」フェスティバルでの屋外の様子

プラザアートフェスティバル

10月26日(木)～29日(日)に健康福祉プラザにおいて、「第10回プラザアートフェスティバル」を開催しました。

障害のある方々が制作した芸術作品の公募展「sakai ARTcation 2023」では、過去最高の応募作品294点を1階体育室に展示し、2,026名の方々に、鑑賞していただきました。

ご来館いただいた皆様からは、障害のある方々が制作したアート作品を鑑賞し「素晴らしい会場ですね」「迫力がありました」「作品からエネルギーを感じる」「また来年も開催してください」「毎年楽しみにしています」などのコメントをいただきました。また、作品を制作された障害のある方々は、自分の作品が展示されていることを嬉しそうにされていました。

造形作家の園川絢也氏をはじめ、ドットアートコスモ右脳の散歩道ギャラリー©の方々に協力いただき作品

展示や空間レイアウトを華やいだ雰囲気を提供していただきました。

本公募展の開催にあたり多大なご協力をいただきました審査員の先生方、プラザボランティアでお手伝いいただいた方々、その他多くの関係者の皆様にお礼申し上げます。



sakai ARTcation 2023受賞された皆様の様子

授産活動支援センター

障害のある方が福祉施設で取り組む、ものづくりや作業のことを「授産(じゅさん)活動」といいます。

第13回堺市授産製品コンクールを開催しました

堺市授産製品コンクールは、障害理解の促進、授産製品の品質向上、授産活動に携わる障害のある方と支援者の意欲の向上や「やりがい」の醸成につなげることを目的としながら、授産製品について「広く知ってほしい!」という想いのもと開催しています。

コンクールは、市民の皆様が審査員となって、会場に展示されている製品の中から「買いたい!」と思う品へ投票をしていただく「一次審査」と各分野の専門家が審査する「審査会」で構成されています。両審査を経て最高得点を得た食品部門、雑貨部門それぞれの製品に堺市長賞が授与されます。

今回のコンクールには、食品2製品、雑貨6製品の計8製品の応募がありました。

一次審査は、令和6年1月16日(火)にイオンモール堺鉄砲町、1月18日(木)には堺市役所本館で行いました。イオンモール堺鉄砲町では、応募事業所による来場者へのPRと製品の販売も実施し、その場で応募製品を購入してくださった方もおられました。2日間で延べ160人の方が投票してくださいました。一次審査は、授産製品を広く知ってもらえるよい機会にもなっています。



イオンモール堺鉄砲町での一次審査

続いて、2月7日に実施された審査会では、応募事業所による製品の特長やこだわりを発表するプレゼンテーションと、学識者、デザイナー、製菓の専門家や企業関係者らによる審査委員との質疑応答を行いました。実際に製品づくりに携わる障害のある方が支援者と一緒に発表を行う事業所もあり、製品への想いや普段の取

り組みについて知ることができました。審査委員の皆様からは、製品への感想やアドバイスをいただいた他、製品づくりに関わる皆様のご自身の役割に真摯に向き合っていることや、続けていく中でできなかったことができるようになっていくこと、チーム一丸となって製品作りを行っていることなど、授産活動そのものの取り組みにも高い関心を示していただきました。



審査会の様子

どの製品もそれぞれに素晴らしく甲乙つけがたい中、食品部門は社会福祉法人こだま福祉会ヤオヨロズヤの「みんなの米粉クッキー」が、雑貨部門は株式会社inC インクの「天然木のスマホスピーカー」が堺市長賞に決定しました。

堺市長賞の授与式は、堺市立健康福祉プラザにて4月に開催される「春のプラザ祭り」で行うことを予定しています。



堺市長賞受賞製品

市民交流センターでは、研修室などの貸出を行っています。障害の有無にかかわらず、どなたでもご利用いただけます。

研修室・クラフトルーム・クッキングルームの使用について



研修室

大研修室・研修室A～Dの5つの研修室があります。全室に無線LANを完備し、付属設備としてプロジェクターとスクリーンが利用できます。また、大研修室と研修室Cには音響設備があり、マイクも利用できます。(付属設備は有料)【利用例】研修、オンライン会議、ゲーム大会、映画上映



クッキングルーム

調理器具を備えた調理室です。お子さんや車いすの方にも便利な昇降機能付き調理台(シンク、IH調理器具2機付属)が4台あり、炊飯器やオーブンレンジ、鍋やフライパン等の調理器具を備えています。



クラフトルーム

絵画、陶芸、木工など、幅広い創作活動にご利用いただける工作室です。木製作業台が5台あり、流し台を備えています。陶芸活動でお部屋をご利用の場合、作品を焼成できる陶芸用電気釜を利用できます。(減免登録団体対象、事前要相談)

料金及び利用方法については健康福祉プラザのホームページをごらんください。

<http://www.sakai-kfp.info/html/use.html>

- *障害者団体には利用料の減免制度あり(事前の登録が必要)
- *営利を目的とする活動及び公序良俗に反する活動での施設のご利用はできません。
- *堺市施設予約システムから仮予約できます。(事前の登録が必要)



(研修室等案内)



(利用方法案内)

プラザの事業をサポートしていただけるボランティアを募集しています

健康福祉プラザでは、スポーツセンターの教室や市民交流センターのイベント、生活リハビリテーションセンターの訓練などをサポートしていただけるボランティアを募集しています。ぜひご協力ください。

お問い合わせは市民交流センターまでお願いします。

*ボランティアに登録するには説明会への参加が必要です。*次回説明会は5月17日(金)午後1時半～3時半です。

利用者の声

健康福祉プラザの施設運営等に対する様々なご意見をいただきありがとうございます。

令和5年9月～令和6年1月末までに職員のあいさつに関すること、トレーニングルームやプールのBGMに関すること等、5件のご意見をいただき改善に努めてまいりました。

今後とも利用者サービスの向上に努めてまいりますので、お気づきの点や気になること等ございましたらご意見をお寄せください。



堺市立健康福祉プラザ

堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

